News Release

2026 年 11 月 12 日
株式会社コア

仙台市「仙台 BOSAI-TECH Future Awards」に採択され、山林・河川から市街地へのクマの侵入抑止を支援する実証プロジェクトをスタート

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員：横山　浩二、以下 コア）は、仙台市が実施する仙台 BOSAI-TECH イノベーション創出促進事業の一環である「仙台 BOSAI-TECH Future Awards」において、課題名「山林・河川から市街地へのクマの侵入抑止」の実証事業者として採択され、実証実験を開始しました。

https://sendai-bosai-tech.jp/event/future_awards/fa2026/#selected

■実証実験の背景

仙台市では、近年クマの出没件数が増加しており、河川を渡って市街地へ侵入する個体や、住宅地に隣接する山林から出没する事例が確認され、市民生活への影響が大きくなっていることが課題となっています。
特に山林や河川に隣接する地域では、侵入経路が限定される一方で、電気柵の設置が難しいことや環境条件による制約が存在し、有効な対策の適用範囲が限られる状況にあります。

本実証では、忌避剤の散布による侵入抑止を想定し、においセンサーで取得したデータを情報基盤に集約して、効果や散布時期を管理します。音や光に比べ、広範囲かつ低コストで抑止することを図ります。

■クマの侵入抑止に向けた においソリューションの適用

本実証では、これまで社会インフラ分野等のにおい対策ソリューションで培ってきた技術を活用し、クマの侵入抑止に向けた有効性を検証します。

<実証概要>

期間：令和 8 年 10 月～令和 9 年 1 月
場所：仙台市内

＜実証の流れ＞

・忌避剤の散布ポイントに屋外仕様のにおいセンサーを設置し、におい（空気質）の値を収集します。
・地図上に散布ポイントのにおい値を表示し、忌避剤の臭気強度を確認します。
・臭気強度の変化を検知し、忌避剤の交換や補充のタイミングを通知します。

現在利用されているクマの検知情報や住民の目撃情報と連携し、侵入抑止の効果を検証します。また、条件（散布する場所や時間帯、天候、クマ以外の物体、忌避剤の種類等）の違いによって侵入抑止効果に差が出るか検証します。

https://www.core.co.jp/service/industrial/iot

■今後の取り組み

弊社は本実証を通じて得られたデータや知見をもとに、本ソリューションの精度向上を進め、将来的には仙台市をはじめとする全国の自治体・事業者様への本格展開を目指してまいります。

■株式会社コアについて

株式会社コアは、「ソリューションプラットフォーマー」として、ICT を通じて社会や産業の課題解決に取り組んでいます。企画・設計から開発、運用・保守までを一貫して提供する技術力を強みに、お客様のビジネスモデルの進化を支え、持続可能な価値の創出に貢献しています。https://www.core.co.jp/

■投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、決算短信等をご参照ください。

お問い合わせ先

■本製品に関するお問い合わせ先
株式会社コア 東関東カンパニー　　TEL：0294-53-0221　E-Mail：hkc-sales@core.co.jp

■報道関係に関するお問い合わせ先
株式会社コア 経営推進室　　TEL：03-3795-5111　E-Mail：coo-office@core.co.jp